

資料① 重点課題

都市基盤整備部会【策定本部】

	重点課題 (目指すこと)	やるべきこと	
		取組の方向性	取組の例
合理的な土地利用	周辺環境と調和した合理的な土地利用を行うこと	地域特性に応じた土地利用の推進	都市計画制度の活用
	それぞれの地域が適切に都市機能を分担し，活力を維持・向上すること	都市機能の適正配置と機能間連携の推進	地域地区の指定（地区計画等の活用）
水循環体系	限りある水資源を大切に使うこと	水資源の有効活用	意識啓発の推進
	水源地の環境を良好に保つこと	水源地の環境保全	水道水源水質監視の強化 河川の水源地の保全
	長期的に安定した河川水量を確保すること	流域の環境の保全	森林の保全
	良好な河川の水質を確保すること	生活排水の適切な処理	下水道施設の整備 合併処理浄化槽の整備
	良好な水源を保全すること	地下水の涵養	地下水の採取規制 農地の保全 透水性舗装の歩道 住宅雨水貯留施設の設置
	環境と調和のとれた川をつくること	環境に配慮した河川整備の推進	自然生態系に配慮した水環境の整備・保全

都市基盤整備分科会【市民会議】

課題の背景・主な理由	重点課題 (目指すこと)	やるべきこと

交通体系	誰もが都市内や都市間を円滑に移動できるようにすること	公共交通ネットワークの充実	公共交通の整備 生活交通の確保		・バスのサービス水準が悪く、魅力がないため、利用するための動機付けが中々働かない。 ・後期高齢者が増加し、公共交通の利便性向上が求められている。 ・バス・鉄道利用者が減少している。	②楽しく乗れる公共交通への再編	・JR 新駅の検討、JR と東武の乗換駅の新設検討 ・LRT 等の検討（是非も含めて） ・バスサービスの改善（エリア料金制、乗換割引、接客の改善、など）
	円滑な道路交通を確保すること	幹線道路ネットワークの充実	幹線道路等の整備 駅前広場等の整備				
	環境への負荷の少ない、誰もが利用しやすい交通環境を創出すること	ひと・環境にやさしい交通環境の創出	交通バリアフリーの推進 自転車の利用活用の促進				
市街地整備	都市の特色や個性を活かし、風格あるまちづくりを行うこと	賑わいと活力のある都市拠点の形成	都市拠点の整備 新市街地の整備		・市外からの玄関として重要であり、まちとしての風格に大きく影響する。 ・中心市街地の活性化が求められている。 ・観光客への魅力づけが求められており、まちの顔として対外的に発信する必要がある。	①市内外の人に対してJR 宇都宮駅周辺を宇都宮市の顔として景観形成を図る	・西口駅前広場の景観、構造、動線の見直し（田川まで含めて） ・オリオン通りの再生 ・ばんばの復活、笑いを提供する舞台の整備
	快適な住環境を創出し、居住・定住を促進すること	魅力ある生活拠点の形成	既成市街地の整備		・地域の顔の形成が求められている。 ・地域生活の中心核が確立されていない。 ・市町村合併をにらんで生活拠点の充実・整備が求められている。	④魅力ある生活拠点の形成	・東、西、南、北拠点の整備
	それぞれの地域が適切に都市機能を分担すること	都市機能の適正配置と連携	地域核拠点の整備 交通結節点の整備				

地域情報化	市民が情報通信技術の恩恵を受けられるようにすること	市民生活や市民活動の情報化の推進	電子市役所の構築 情報通信基盤・地域情報活動拠点の整備促進
	企業などが情報通信技術を活用し、地域産業が継続的に発展できるようになること	地域産業の情報化の促進	情報通信産業の集積促進 人材育成の充実
	—	—	—

・既存樹木の再生は不可能となりつつあり、再度見直す必要がある。 ・歴史資源の活用、PRを行う事により、まちの魅力を向上させる必要がある。また、そのために、資源を再発見する等の教育が必要である。	③地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進	・八幡山公園の再整備 ・蔵のまちの形成 ・大谷の観光地としての再生 ・釜川周辺の再整備